

発行責任者
公益社団法人隊友会 神奈川県隊友会
湘南支部長 清崎 忠園
平塚市豊原町 23 - 14
Tel : 080-1174-8224

隊友

湘南支部ニュース

国民と自衛隊との架け橋！

我が国民は「我が国は真綿で首を絞められている」と感じているだろうか！

湘南支部長 清崎忠園

我が国を取り巻く中国、ロシアに
関する各種の報道に関して政府の対応は「厳重に抗議した。今後の推移を見守る。・・・」等の内容であり、我が国民は最早「またか」との気持ちから段々我が国の危機に対する関心を失いつつある。即ち中国やロシアの真綿にやんわりと首を絞められていると表現できよう。多くの報道記事の中からそのことを感じ取れることにつつまる。

1. 報道に見る中国の実像

中国艦艇による日本周辺の海峡通過の増加（5月20日の報道から）
中国及び露軍艦艇の軍事活動が活発化している。中国艦艇による日本周辺の海峡通過などの件数が過去3年間で約2.6倍に増加したことが5月19日防衛省などの発表資料で分かった。令和3年は36件、4年が76件そして令和5年は94件と増加している。露艦艇は令和3年の27件、4年が45件、5年は48件と増加している。中国艦艇は太平洋への主用ルートとなる沖縄本島と宮古島間の海峡通過が3割超で最も多く、対馬海峡から日本海へのルートが次に多く、領有権を主張する尖閣諸島周辺での活動や与那国島と西表島の間を通過するケースもあった。

尖閣領海内に中国海警局の船

（5月21日の報道）
第11管区海上保安本部は尖閣領海内に中国海警局の船2隻が19日以降侵入し引き続き領海内にとどま

っていると発表した。中国当局の船が領海侵入したのは今年16日目。接続水域では別の中国船2隻も確認された。接続水域を含め、尖閣周辺で中国当局の船が確認されるのは151日連続と報じている。

石垣市の尖閣諸島の調査

（5月6日の報道）

石垣市はドローンによる尖閣諸島の上空からの自然破壊状況の調査を行った。（4月25日～27日）今回も上陸調査を政府は認めなかったためである。次の点を指摘している。今回も中国の海警局船舶が日本の領海に侵入し調査船に接近した。調査の妨害である。我が国の巡視船が調査船を守ったが安全のため調査活動が一部中止された。

そもそも尖閣は我が国の領土（領土）その周辺は我が国の領海であり中国船に侵入、徘徊できる権利は毛頭ない。また「調査は中国の主権を侵害する挑発行為だ」（中国外務省報道官）とは開いた口が塞がらない。そもそも中国が尖閣の「主権」を主張し始めたのは周辺に石油資源埋蔵の可能性が出始めた1970年代から。69年に中国政府機関作成の地図には日本名の「尖閣群島（諸島）」「魚釣島」と明記されている。中国が日本領と認めていた証拠と指摘している。

この話は筆者もこれまで何度となく聞き及んでいる。このことは我が国にとつては長年慣れ親しんだ内容であり中国も了解しているはずなのに、そこに落とし穴がある。

更に、「沖縄の行政区画である尖閣について沖縄の玉城デニー知事が中国

に対し抗議しないのも問題である」と。

2. 我が国の対応は何か

(1) 尖閣諸島の魚釣島から120キロの日本の排他的経済水域内で海上保安庁の最新鋭測量船「平洋」（約4千トン）に中国海警局の船が14日頃から執拗に追尾していることが20日分かった。

尖閣諸島をめぐる連日のように中国船の行動が報じられている。最早、中国の領海化とも言える尖閣諸島周辺の状況であるが、我が国の対応は海保による監視警戒の域を出ない現状である。このままの状態が続けば、後は関係船舶数で結果が出るのではと想像せざるを得ない現状である。正に「真綿で締め付けられ動きが取れなくなる方向へと進んでいるように思われてならない。尖閣諸島は、我が国の固有の領土であることは間違いないが、それにふさわしい国家の対応が見えていないのである。

我が国は戦後、北方四島問題及び竹島問題で経験済みであるが即ち「ある国の国民が不法行為と言われなくても住みだすとそれを排除することは不可能であると。ロシアそして韓国と不要の摩擦を生じさせないという外交方針のためと考えるが、今やこれに尖閣諸島を舞台に中国が加わる可能性を考えなければならぬ状況となつて来つつある。

(2) 最早尖閣諸島周辺海域では漁ができなくなる。中国は拿捕の法令化、6月15日から施行する。5月18日の報道によれば次の様な内容が報じられている。

中国海警局が、中国の領海に違法

侵入した疑いのある外国人の身柄を最大で60日間拘束できることなどを明記した法令を中国当局が5月15日に公表したと17日付の香港英字紙サウスチャイナ・モーニング・ポストが「伝えた。中国は尖閣諸島の領有権を主張しているほか、南シナ海の大半でも権益を主張し周辺国と対立している。6月15日から施行される。

(3) 歴史的教訓とは「固有の領土であれば国民をあらゆる方法でその地に生活の基盤を設け居住する事である。尖閣諸島で、これに我が国が中国に先手を取られた場合はもう取り戻すことは不可能となる。

現時点でウクライナ領の約18%がロシアの占領下にあるとされる。ウクライナ国シンクタンク「キーウ国際社会学研究所」が昨年12月に発表した世論調査では、「和平の為に領土的譲歩をすべきか」との質問に74%が「すべきでない」、「すべきだ」とした19%を大幅に上回った。ウクライナ国民の7割が「領土を譲歩しない」（R5年12月）と言う強い国民の意志が我が国にも醸成されねばならない。

湘南支部名所旧跡探勝

ハイキングのご案内

支部理事役 西村 剛

令和6年第1回名所旧跡探勝ハイキング
日時
・6月22日(土)10時～16時

※雨天決行
場所
・JRA（日本競馬会）「馬事公苑」
（東京都世田谷区上用賀2-1-1）

・東京農業大学「食と農の博物館」
(東京都世田谷区上用賀2-2-8)

行動計画

- ・時刻及び行動内容
- 10:00 集合
- 小田急小田原線 成城学園前駅
- 中央改札口前(改札口を出た所)
- 10:10 成城学園前駅南口バス停(発)
- ※乗り場は中央改札口を出て右方向をそば
- (渋24系統)「渋谷駅行き」に乗車
- 10:30 農大前バス停(着)
- ↓〔徒歩移動約5分〕
- 10:35 JRA馬事公苑(着)
- 武蔵野自然林 散策・馬術競技場 見学・展示コーナー 見学
- 12:00 JRA馬事公苑(発)
- ↓〔徒歩移動約3分〕
- 12:03 昼食
- 「てんぐ大ホール」和風レストラン
- 13:30 移動(南側隣へ)
- 13:32 「食と農の博物館」
- 企画展『美しき土壌の世界』展を観賞
- ※隣接のバイオリウムも観賞(マダガスカルの小動物・熱帯地域の植物)
- 15:30 「食と農の博物館」(発)
- ↓〔徒歩移動約3分〕
- 15:35 農大前バス停(発)
- (渋24系統)「成城学園前駅行き」に
- 乗車
- 15:55 成城学園前駅バス停(着)
- 16:00 解散
- ・経費 バス料金230円 2回(往復)
- 計460円
- (都内は1系統、どこまで乗っても
- 230円で、IC 現金 共に同額)
- ・昼食代は各自でお支払い下さい。
- 参加押し込み(連絡先等)及び期限
- ・名所旧跡探勝担当 西村剛 宛
- 参加希望者ご氏名をお知らせ下さい。

メール: nishimura.164141@docomo.ne.jp
4wu86c@dma.biglobe.ne.jp
 携帯 : 090-2459-2144
 FAX : 0466-43-8240
 ・申し込み期限 6月19日(水) 18時



『馬事公苑の風景』



美しき土壌の世界「モノリス」

災害時のトイレ

支部理事役 鼓 達也

現在、災害時のトイレについては様々な種類や代替方法を紹介され、自宅に備蓄している方が多いが、実際に使用したことがあるか。能登半島地震でも災害時のトイレを使用できない方が多いという話を聞いた。平時に使用できないものは緊急時にも使用できない。備蓄だけでは、実際に使用し慣れておくことが大切だ。

災害時はごみの回収が滞るため排泄物置き場が必要である。防臭袋を使用しても時間が経つと臭ってしまう。屋外では鳥や虫の被害、日が当たるとガスが発生し袋が破裂するリスクがある。直射日光を避け、生活スペースから距離があり、動物や虫が近づきにくい場所に排泄物を置く必要がある。おむつを使用する子どもや介護している者であれば専用のゴミ箱を持っている可能性があるが、家族全員の対応は難しい。自宅避難の場合は風呂場やベランダ(直射日光を避けネットなど被せる)が良いとされる。ペットの排泄物対応も同様。トイレが使用可能かの確認は、汚水栓の蓋を開けて風呂場や洗面台に水を少量流し流れてく

るか、桝に水が溜まったり溢れないかも確認して下水管の損傷を確認する。問題なければトイレを流しても床下などに排泄物が溜まることは防止できるが、街の下水管の状態は不明なので最低限の使用に努めたい。浄化槽は特殊で環境省のHPにて紹介している。

マンションの場合は、建物全体の下水管の損傷が確認を要す。上層階でトイレを流してその部屋に支障なくとも下層階で水漏れが起きている可能性がある。

避難所では、防犯や女性の視点も必要。「東日本大震災女性支援ネットワーク」(当時)は2013年の報告書では性被害が82件であったが、羞恥心や人間関係により報告できない人も多いという。とある避難所では生理用品が避難所の正面に設置したが全く使用する人がおらず、男性避難所要員は不要な物と考えたが、皆の目につく場所であり女性たちは手を出しにくいと考えていたことが判明した。避難所要員には多様な視点やメンバーが必要である。障がい者の視点も重要で、和式トイレだけでは足腰に不自由のある高齢者や身体障がい者がトイレの利用困難となる。バリアフリーや避難所の部屋や配置割りも重要な視点である。

排泄は避けることは出来ず、平時に使用できない物は緊急時にも使用できない。平時から災害用品の使用を実践し、防災要員の方は多様性を考え苦痛を与えない避難所にならないように努める必要がある。

令和6年度年会費納入者(順不同・敬称略)
 湘南支部長(五月二十一日現在)

次の会員各位から年度会費を納入していただきました。ご協力に感謝申し上げます。

特別法人会員

榎櫻井興業、テクノブリッジ(株)、尾上洋一、喜瀬美恵子、木村俊雄、日下部亘男、栗田恵子、中根圭介、原博章、松長泰幸、松長由美絵、吉田清人、井岡成吉、飯島邦光、市川和広、白井忠欣、加藤大嗣、吉田実、塩坂源一郎、原康二、国松誠、鈴木道子、堀岡忠重、宮城覺映、

正会員

池田周平、荻原洋聡、加藤健治、桜庭憲昭、菅原政弘、相馬孝良、其浦勇治、田中宏治、常光康弘、鶴岡暁、濱口浩二、松村昭男、渡邊直、小林勉、対馬正幸、三澤征治、小林貞雄、梅津雅仁、横山安廣、

終身(寄付者)

春日敏、坂西厚隆、高木幸夫、中尾眞、日高昭、福樂勲、渡邊武美、岩崎政弘、塩川儒廣、

支部会員の計報

謹んでご冥福をお祈り致します

正会員 故 渡邊 武美 氏
 令和6年4月29日 ご逝去

「支部の予定」

- ・06/01 (土) 第3回支部理事役会
- ・06/22 (土) 第1回名所旧跡探勝
- ・06/19 (水) 6月隊友紙発送
- ・07/06 (土) 第4回支部理事役会
- ・07/18 (木) 7月隊友紙発送
- ・08/03 (土) 第5回支部理事役会
- ・08/中旬 部隊研修

編集後記

今後とも各種ジャンルに亘る、ご寄稿のご協力を宜しくお願い致します。